

●とびくす●

新年のご挨拶

公益社団法人徳島県建築士会 会長 笠井 義文



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。私も昨年会長に就任させていただき、これまでにない心引き締まる思いで新年を迎えました。本年も会員の皆様とともに、会運営や事業に取り組んで参りたいと思います。更なるご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

さて、就任以来私は、「会員増強」「会員倍増」を最も優先することとして、提唱させてもらってきました。「2020・2020計画」と称して4年後に会員を今の倍にするとしたのも、目標や指針を分かり易く皆様にお伝えしたかったからです。

まだ半年ですが、このメッセージは着実に広まりつつあります。そして会員お一人お一人の中に、それに向かつての行動の灯火が次第に大きくなってきていることを感じます。これからも多くの方々のご理解とご賛同を増やす努力を続けていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

年頭ということもあり、この場をお借りして「建築士会とは」ということについて、私の考えをあらためて述べさせていただきたいと思います。私は常々、徳島県建築士会を次の視点から、語るのではないかと考えています。それは、「会員あつての会」「多彩な個性がつくる会」「歴史を受け継ぐ会」という三つの視点です。

まず、建築士会は、会員あつての会であるということです。建築士会は、会の趣旨や活動に賛同する会員で組織される会です。そして、その運営は、会員から集められた会費と会員の役務とで賄われています。つまり会員がいなければ、この会は成立しない。改めて言うまでもないことですが、これは重要なことです。

建築士が、士会に入会する義務はありません。また入会しなければ仕事ができないということもない。つまり会員のほとんどは自らの自由な意志によって入会しています。したがって入会率（建築士会員の建築士に占める割合）は低く、現在全国平均で10%を下回っている状況です。しかし、だからこそ、建築士会はそのような会員を第一に尊重する会、でなければならぬと思います。

次に、建築士会は、多彩な個性がつくる会であるということです。建築士会は、建築士という資格を持つ人で組織された会です。会員にはいろいろな職業や立場の人たちがいます。ですからこの会は、仕事上の同じ利害で動いている団体ではなく、しいて言えば「建築」を共有する仲間が集まり、建築に関することを幅広くしている、またできる会だと言えます。

この、建築士という資格をもった個人が、職業や立場をこえて各々の職能を生かすことにより、建築を中心とした分野で幅広く社会に貢献する団体が建築士会であり、この会員のフラットさと多様さこそが、会独特の魅力的な個性となっているのです。

そしてもう一つは、建築士会は歴史を受け継ぐ会であるということです。建築士会を語る上で忘れてはならないのは、諸先輩がこれまで、この会をどのような思いで創設し、運営、継続してきたのかということです。

徳島県建築士会は、士法が制定された翌年の昭和26年に設立された、今年で66年を迎える伝統ある会です。設立当初の徳島の建築業界は、都会に比べてまだまだ後進で、そこで建築に携わる人たちが新しい技術や中央の情報に飢えていたであろうことは容易に想像できます。

そんな人たちが、建築士会を拠点にして集い、仲間を増やし、そして様々な活動を始めた。会員は次々と増え、私が入会する昭和55年頃には、全国一の組織率を誇るまでに至りました。私たちは今、そんな人たちのことを思い起こし、これから自分たちのできることを考えなければいけないのだと思います。

以上のことを考え合わせると、建築士会とは何か、ということが見えてくるように思います。即ち、建築士会とは、会員のためのものであり、社会のためのものであり、そしてその歴史を創ってきた人たちとこれから歴史を創っていく人たちのものである、ということです。

それらのことを念頭に、とにかく私は、一人でも多くの会員や仲間を増やしたい。徳島県建築士会をかつてのような賑やかで活気のある会にしたいと思っています。そしてこれからそれを実現するべく、この会の代表として邁進していく所存です。ただ、それが実現できるかどうかは、ひとえに会員の皆様の力に懸かっています。どうか、そのためにお力をお貸しください。その先に見える景色を想像し、それを楽しみにしていただきながら。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

AWA 建築 Jamboree2016 第7回 高校生の建築甲子園 徳島予選会

AWA 建築 Jamboree2016 第7回高校生の建築甲子園 徳島予選会+建築講演会が11/12に開催されました。

建築甲子園は科学技術高校から3チームが出場し、去年からレベルアップしたプレゼンが繰り広げられました。

続いて阿南高専、徳島大学建築サークルからの活動報告と、長坂常氏による講演を聞き、高校生、高専生、大学生、そしてプロが建築を熱く語る一日となりました。

そして最後に笠井会長から建築甲子園最優秀賞として名前が呼ばれたのは「れんこんすごろく」チームでした！全国大会2連覇を目指して健闘を祈りましょう！

< れんこんすごろく～先を見通す街の仕組み～ > 徳島県立徳島科学技術高等学校

建築コース 3年 片山 幸翼

建築甲子園の本戦に出場し、二連覇することを目標に日々努力してきたので、徳島県予選を通過することができて本当によかったです。よい結果が出せたのも建築コースの先生方、徳島県建築士会の皆様、そして何より「れんこんすごろく～先を見通す街の仕組み～」を一緒に完成させた玉川優利香さん、濱口夢菜さんがいたからだと思います。時には意見が衝突したり、険悪なムードになったりと大変なこともありました。作品が完成した時の感動は筆舌に尽くしがたいものでした。また、作品についてのアドバイスをしてもらった吉田先生、元木先生には感謝の気持ちでいっぱいです。

描いたパースが使われなくなったり、パワーポイントをやり直したりと苦労も多かったですが、徳島県予選の発表が上手いき良かったです。

徳島県を代表して建築甲子園の本戦に出場するので良い結果が残るように期待しています。



< 笑町～道と人でつなぐ町～ >

徳島県立徳島科学技術高等学校

建築コース 3年 井浦 魁星

私たちは、4月から11月の約7ヶ月間、建築甲子園の作品作りをしてきました。徳島県予選会では、優勝できず悔しい思いをしましたが、全国大会に出場するれんこんすごろく班には、徳島県代表というだけでなく徳島科学技術高校の代表としても良い結果が残せるよう期待しています。

私の班は、中原綾真さん、多田朝美さんと私の三人でした。意見がかみ合わない時もあり、衝突してしまいうこともありました。その度、放課後遅くまで残り、班員で話し合いをしたり、先生方に助言をいただいたりすることで、無事に乗り越えることができました。

今回、課題研究で建築甲子園をして、庄町の方々の温かさや優しさを感じました。それと同時に、今の庄町の現状を知りました。今回のことで、貴重な体験ができただけでなく、たくさんを知ることができました。このような機会をつくっていただいた先生方や徳島県建築士会の方々にはとても感謝しています。

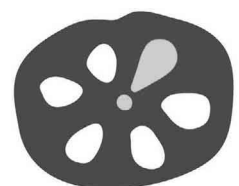
< 北泊で『ブラドマリ』 >

徳島県立徳島科学技術高等学校

建築コース 3年 久禮羽 心

建築甲子園徳島県予選では、優勝することができず、とても悔しかったです。しかし、榎本若奈さんや宇田このみさんと協力して、一つの作品を仕上げていくというのは、とても良い経験になりました。CADをする人やパースを描く人、ストーリーを考える人等、役割を決めて作業することで、順調に進めることができました。意見が分かれた時には、どちらが良いか話し合うようにし、吉田先生や元木先生にアドバイスをいただき、全員が納得できる作品を作ることができて良かったです。

建築甲子園徳島県予選での発表は、今まで練習してきた成果を発揮することができました。これから就職をして、大勢で一つのものを造り上げたり、お客様に対してプレゼンしたりする時に、今回のことはとても役に立つ経験となりました。



●ほっとにゅーす●

青年部会40周年記念イベント & 祝賀会 報告

青年部会40周年記念事業実行委員長 蓑田 勉

去る、12月3日(土)に建設センターにおいて、青年部会40周年記念イベントとして「災害時に避難所等で活用できる必要なもの」デザインコンテストを開催しました。6月に実施要項を発表し、およそ5ヶ月ほどの短い期間ではありましたが、各地域会ともにいろいろな角度から考えたアイデアを出してきており、すばらしいコンテストになりました。コンテストは、収納状況→組み立て状況→PRタイムをへて、6名の審査員の審査結果としては、川島地域会の作品が最優秀賞を勝ち取りました。優秀賞に徳島地域会と、来場者の人気投票による最人気賞も同時受賞した三好地域会が受賞しました。イベントには100名を超える方々にお越しいただきました。

夜は、祝賀会を開催し、青年部長もされた笠井会長の挨拶、21代青年委員長の後藤さんの挨拶ではじまり、歴代青年部長15名による鏡開きで乾杯、イベントとして、徳島県の地図を地域会ごとにパーツをつくり、持ち寄って組み合わせた合体地図を作成し、一体感を表しました。イベント&祝賀会ともうまくいったと思います。

今回のイベントは、各地域会内での親会と青年部会の連携とつながりを深めることや新規会員の発掘等を目的に内容を計画しました。うまくいったところ、うまくいかなかったところがあるかと思いますが、今後の活動につなげていってほしいと思います。

最後になりましたが、ご協力いただきました会長をはじめ、全会員のみなさまにお礼を申し上げたいと思います。『ありがとうございました。50周年はもっと盛大にやりましょう!!』

★アイデアコンテスト結果

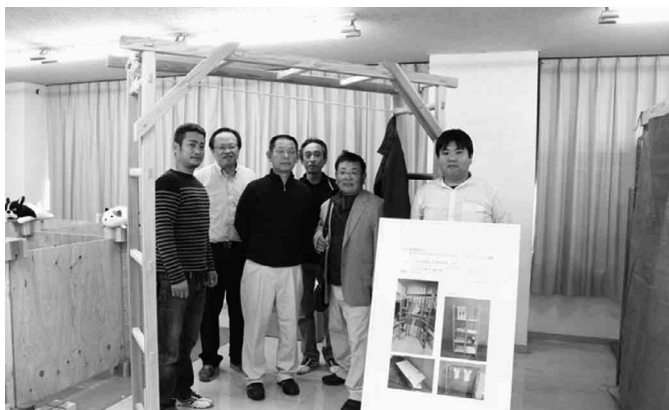
- ◎徳島県建築ときわ会 最優秀賞 川島地域会
- ◎同 優秀賞 徳島地域会
- ◎同 優秀賞と最人気賞 三好地域会

★各地域会の作品名

- 徳 島 「ダンボールトラス」
 - 鳴 門 「SOS バルーン」
 - 小松島勝浦 「ほっと一安心プライベートシェルター」
 - 阿南那賀 「ぽかぽかあったかべっど」
 - 板 野 「避難所ベッド」
 - 川 島 「組替え備蓄棚 LADER (ラダー)」
 - 海 部 「38 (さや) ちゃん」
 - 美 馬 「大量輸送平気」
「(仮称) 間仕切り 零号機」
 - 三 好 「プライウッド ペット ケージ」
- 各作品については、苦労話も含め、今後紹介いたします。



歴代青年部長の方々による鏡開き



最優秀賞を受賞した川島地域会のメンバー



各地域会が作り、持ち寄り組み合わせた徳島の地図

徳島地域会近況報告

徳島地域会 後藤 和典

皆様、こんにちは！青年委員長の後藤です。今回は支部だよりとして代表で書かせてもらっていますが……

まずは、先日行いました青年部設立40周年記念イベントアイデアコンテスト、並びに懇親会の開催において、皆様方にご尽力をいただき心から感謝申し上げます。

40周年の全体の総括は実行委員長の蓑田さんに報告してもらおうとして…

個人的には、たいへん盛り上がり、皆様にも予想以上に!?楽しんでいただけたかと感じております。

地域会近況報告、ということですが、本年は40周年へ向けての実行委員会活動に時間を費やしておりましたので、私ほか徳島地域会の方が参加している事業を紹介します。

まず、関口さんと時本さんをリーダーとして活動している耐震化工事誘発モデル事業に、当地域会からも青年部を中心として多数参加しております。この事業は徳島県からの委託事業であり、情報発信チームと、コンシェルジュチームの2チームで活動しています。

また、5月21日に行われた、飯泉知事と若手建築士との意見交換会（わくわくトーク）には徳島地域会より8名が参加し、耐震改修工事の更なる促進について、有意義な提言をすることができました。来年度からの木造住宅耐震診断、改修工事に意見交換会の内容が反映されればと思います。

多くの方に参加いただきました6月4日、5日の青年女性建築士の集い 岡山大会には、当地域会からは13名で参加しました。来年度はより多くの方に参加してもらえればと思います。

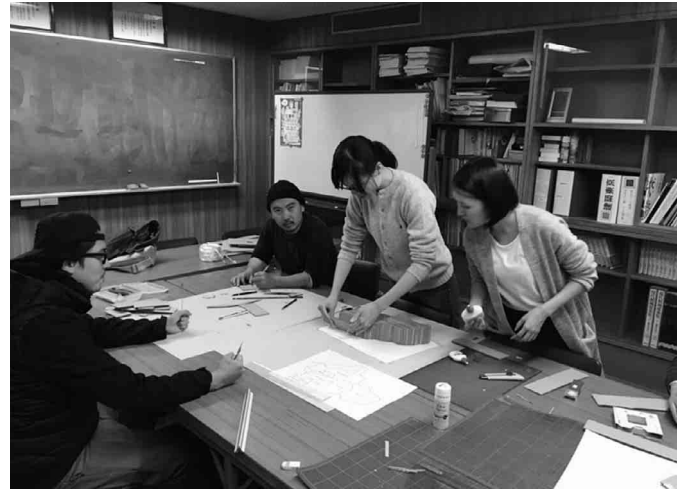
7月30日には、毎年恒例のBBQ大会を、由岐町のドミトリー聖ヶ丘（このすまい）で25名にて行いました。他地域会の方にも参加いただき、おおいに盛り上がりました。（後藤は飲み過ぎて早々と寝てましたが（苦笑））。

8月12・14日の阿波踊り「まちなみ連」には、県外から参加の方も含め多くの方で盛り上がり踊りました。まだ参加したことのない建築士会の方、ぜひ一度ご参加ください！

その他、前年にまちかどに掲載しました、9月24・25日の中四国若手建築志（士）交流会 in 高知（幡多）、10月21～23日の建築士会全国大会大分大会&全国建築士フォーラムに参加してきました。

そして、何とんでも40周年記念事業に、忙しい中集まって悩みながらも徳島地域会としての目標を決め団結できたのが印象に残ってます！各地域会の皆様も同じであったと思います！

今後とも徳島地域会主催の行事はじめ、皆様ご参加、盛り上げのほどよろしく願いいたします！



40周年、よーけみんなが集まりました！



品質で選ばば —

朝日フェンス

WIRE NET & FENCE

 朝日スチール工業株式会社

<http://www.asahi-fence.co.jp>

本 社 高松市花園町1丁目2番29号 TEL 087-833-5151

四国営業部 第1課（香川・徳島） TEL 087-835-8730 FAX 087-835-8720
第2課（愛媛・高知） TEL 087-835-8700 FAX 087-835-8720

東 京 03-3239-4815 大 阪 06-6244-1910 九 州 092-471-7621
名古屋 052-932-3500 仙 台 022-263-1790

「心 平 気 和」

(心平らかに気やす＝落ち着いていて安らいでいる様子)

川島地域会 遠藤 美信

◎「湖東三山」11／6(日)建築士会・川島地域会建築見学会(日帰り)

去る11／6(日)に鎌倉和敏地域会長・宮田育典氏のお世話で、大人21名、子供4名での「湖東三山」川島地域会建築見学会に参加させていただきました。その体験談を発表いたします。

まず、最初に訪問したのは、文化財マイスターで活躍されている宮田氏が、今回のコース「湖東三山」以外の「石山寺(いしやまでら)」に『是非とも近くまで来ていたので行きませんか。』でした。

理由としては、「西国巡礼十三番札所である滋賀 大本山 石山寺では平成28年3月18日～12月4日に、33年に1度の日本唯一の勅封秘仏 本尊 如意輪観世音菩薩 御開扉 特別拝観ができる。」で有りました。また、ここの「多宝塔」の特色等を宮田氏に解説していただき、彼は流石によく勉強されていることに感心しました。また私自身の感想は、本堂前のモニュメントとも言える、自然を活かした巨石とその奥に観える多宝塔。そして少し色づいた木々が、「石山寺」と名づいたイワレがあるのかな。を発見しました。

次に、滋賀県(近江国)湖東の地は、比叡山延暦寺を頂点とし、琵琶湖周辺に天台宗寺院が数多く存在すると聞いています。最初は①西明寺(さいみょうじ)は、山門(比較的になんか新しかった。)を潜って左手に「不斷桜」があり、名のとおり秋・冬・春に咲き樹齢250年らしく{県の天然記念物}。そして戦国時代に織田信長の比叡山焼き討ちに難のがれた「本堂(瑠璃殿＝鎌倉前期/建立)・「三重塔(鎌倉後期/建立)」は、国宝第一号指定。本堂＝七間四方・入母屋・桧皮葺正面七間は、全て葺戸、高さのわりに屋根勾配は緩やか。「三重塔(H＝20.1m)」＝本堂に向かつて右側に位置し、初重に回り縁を設け、屋根・桧皮葺、軒深く・反りが魅力。また、名勝庭園＝「蓬萊庭(ほうらいてい)」{国指定}。○感想としては、春夏秋冬・四季折々の風情が楽しめる寺社で有るように感じます。

次に②金剛輪寺(こんごうりんじ)は、中腹まで観光バスで登れ、途中から参道に入り先ず驚いたのは、左右に巖座する千余のお地蔵さんに賑わしくカラフルな風車とエプロンが奉られていました。「二天門(左右に大きな草鞋有り)」を潜り、「本堂(大悲閣＝南北朝初期説/建立・国宝)」＝七間四方・入母屋・桧皮葺、平面構成は、西明寺本堂とまったく同じである。「三重塔(待龍塔＝南北朝推定/建立 H＝21.55m)」＝本堂の北寄りに

西面に位置し、度々災厄に遭遇。S50年代解体修理実施し現在に至る。○感想としては、水雲閣(茶室)・庭園(江戸中期/池泉回遊式)が、有るらしく時間都合で拝観できなかったことは、非常に残念であった。

最後に、③百済寺(ひやくさいじ)は、上の二山より本堂・仁王門・山門等は歴史が、浅く慶安3年(江戸初期1650年)の再建である。そして「本坊 喜見院書院(S15年に移転改築し、次の庭園も拡大移築された。)前の庭園:別称「天下遠望の名園」＝近江の歴史舞台を一望し、百済国を偲ぶ「一大パノラマ庭園」を謳い文句のとおり、池泉回遊式且つ鑑賞式らしい。○感想としては、書院正面の平ら巨石や溪流の源の自然な岩石の組み合わせは、見事な感がしました。また、池の周りを歩いていると鯉が群れて頭部まで口を開け水面まで出ているのには、びっくりしました。追加としては、ここの山門前の店で購入した「赤いコンニャクの詰め合わせ」には、先ず色に違和を感じましたが土産にと思い、自宅で食しましたが大変柔らかく、食感も良く家族にも好評でありました。ぜひ、皆さんにも「湖東三山」へお越しの際は、この「……………詰合せ」をお土産にお勧めいたします。

結びに、今回訪問した「湖東三山」には、鈴鹿の山懐に抱かれた清らかな気がみなぎっていましたが、我が庵より石井町に位置する「気延山(標高;212m)／きのべさん」が、毎朝遠望一できています。60の齢を過ぎ残る月日を、建築士会の皆さんと全国大会・支部の建築見学会等に参加して非日常の寺社建築・庭園等の空間に心身を体現し、日頃の日常を心平気和「しんぺいきわ」で最も大切に考えて生きたいと思う今日この頃です。



「気延山(標高;212m)／きのべさん」

●連載●



「2020・2020への道」

わたしたち徳島県建築士会は、東京オリンピックの年までに会員を2020人にするを目標し、毎号、阿波まちなかに「2020・2020通信」というニュースレターをはさみ込みんでいます。折り込みチラシと一緒にしているので、間違えて捨ててしまわないようにお願いします。

このコーナーでは、会員からの投稿やメッセージ、募集アイデア、新会員の速報や紹介、関連イベント、コラム等を紹介いたします。どうぞみなさん、ご注目！そしてご参加ください！

●士会だよりー防災研●

「応急危険度判定講習会」のお知らせ

平成28年度が更新年度になっている建築士会会員判定士で、まだ更新申請手続きをしていない方は、平成29年3月31日までに更新手続きを忘れずに、行ってください。

更新の申請書を徳島県建築指導室へ提出すれば講習会に参加しなくても更新はできますが、技術向上や判定士同士の交流のため、積極的に受講してください。なお、更新者名簿と申請書書式はHPに。問合せ（防災研：矢部洋二郎080-2982-9922）

＜模擬訓練と講習会案内＞

- ①模擬訓練として実施し、判定士資格を取得できます。CPD2単位
平成29年1月29日(日)午前9時～午後12時まで
徳島市宮宮島住宅団地内（川内町宮島錦野）先着30名、小雨決行
- ②講習会：2月4日(土)午前10時から午後12時30分まで。
穴吹農村環境改善センター（美馬市穴吹町穴吹安成73＜美馬市役所の東隣＞）、CPD2単位。

●士会だよりー本部●

木造耐震関係講習会等開催のお知らせ

【平成28年度 木造住宅耐震技術者養成講習会】

今年度2回目の登録講習会です。耐震診断業務や耐震改修工事の施工を希望される方は受講してください。

日 時：平成28年2月22日(水) 10：00～16：30

場 所：県立図書館3階集会室1

受講料：3,000円（テキスト代除く）

※上記講習会の申込方法等詳しくはチラシをごらんください。
※3月には、例年どおりフォローアップ説明会が開かれる予定です。
積極的にご参加ください。

●士会だよりー本部●

平成28年度専攻建築士新規・更新案内

(公社)徳島県建築士会 CPD 制度促進部会

平成28年度専攻建築士の新規・更新者の受付を行います。

- ・受付期間
平成29年1月5日から2月28日まで
- ・CPD 単位取得期間
平成27年1月1日～12月31日までの CPD 取得期間が対象となります。
- ・新規認定要件
5年の実務経歴、3件の実務実績、CPD12単位
- ・登録更新要件
直近5年間の CPD60単位のみとします（新たに実務実績の審査はいたしません）
- ・登録、更新費用（税別）
①新規 16,000円（バッジ・カード込み）
②更新（申請書による窓口申請） 12,000円
③更新（WEB 申請*割引適用） 9,000円
- ※更新時のカード、バッジは任意（認定・登録料と別枠実費）とし、WEBでの更新申請の導入により、申請者の負担軽減につながります。
- ご不明な点があれば建築士会事務局へ問合せください。

●士会だよりー本部●

第5回市民と行うユニバーサル点検会

日 時 平成29年1月14日(土)10時から14時45分
集合場所 鳴門市ドイツ館2階会議室
点検場所 ドイツ館、賀川豊彦記念館、道の駅第九の里
内 容 施設内外を参加者の皆さんと点検し、ワークショップを行います
問い合わせ先 鳴門地域会 河村（電話 080-3168-8543）

●士会だよりー徳島県●

徳島フォレストサイエンスシンポジウム

日時 平成29年1月27日(金)13時30分～16時30分
場所 徳島大学総合科学部地域連携プラザげやきホール
本会会長もパネルディスカッションのパネリストとして参加します
申込方法等詳しくはチラシをごらんください。

※次回編集会議は、1月23日(月)16時30分から

編集後記

- ・新年になったからって特別なことは何も無い、という漠然とした安心感がお正月のよいところですね。（ノーリツ号）
- ・鹿島凄いです。（tekitoku）
- ・一番に来て一番に帰りました。（べべい）
- ・サンタさんから食パンもらいました。（新妻）
- ・黒部ダム行ってみたい。（ひととはうさぎ）
- ・今日は、大津波警報がでました。（酎西）

建築士会本部行事案内 平成29年

平成29年 1 月	2 月
5日(木) 仕事始め	3日(金)～4日(土) 中国四国ブロック会長・局長会議 (岡山)
6日(金) 常任理事会 (士会会議室)	5日(日) 科学技術高等学校卒業展 (21世紀館)
11日(水) 建築相談 (士会会議室)	8日(水) 建築相談 (士会会議室)
18日(水) セビア (士会会議室)	15日(水) セビア (士会会議室)
19日(木) 建築士定期講習 (士会会議室)	22日(水) 建築相談 (士会会議室)
24日(火) 監理技術者講習 (士会会議室)	木造住宅耐震技術者養成講習会 (県立図書館3階集会室1)
25日(水) 建築相談 (士会会議室)	

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時・2時・3時（相談時間は1時間以内）に実施しています（要予約）。

発行所

公益社団法人 徳島県建築士会

〒770-0931 徳島市富田浜2丁目10番地
建設センター5F

[TEL] 088-653-7570 [FAX] 088-624-1710